

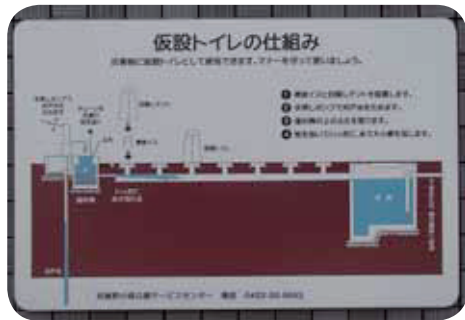


ヘリコプター離発着の可能性がある
広場 (大規模救出・救助活動拠点)
災害時には、ヘリコプターの離発着場所として使
用される可能性のある広場です。



マンホール型トイレ

災害時には、マンホールの蓋を外してテントを設置することにより仮設トイレとして使用すること
ができます。



防災トイレ (常設)
地下に便槽を持ち、災害時に給水や排水などの
インフラが寸断された場合でも利用できるトイレ
です。



防災井戸ポンプ
ライフラインが絶たれた時に、トイレ用水や生活
雑用水を確保できます (飲料水としては使用でき
ません)。



大休憩舎
災害時には、救護スペース等として使用します。



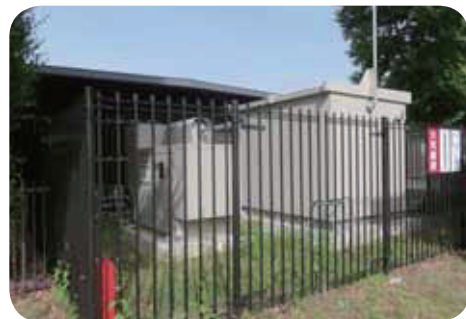
災害救援自動販売機
災害時、一定の条件が揃った時に飲料を無償提
供する機能が備わった自動販売機です。



広域避難場所表示灯



防災用照明灯 (ソーラー照明灯)



非常用発電機
サービスセンターが震災対応をするために必要
な電源を確保する設備です。



修景池
防災時に池の水を生活用水として活用すること
ができます。



AED

武蔵野の森公園防災施設マップ



- ヘリコプター離発着の可能性のある広場
(大規模救出・救助活動拠点)
- マンホール型トイレ
- 防災トイレ (常設)
- 防災井戸ポンプ
- 大休憩舎
- 災害救援自動販売機
- 広域避難場所表示灯
- 防災用照明灯
- 緊急車両出入口
- AED
- サービスセンター
- 避難誘導灯
- 非常用発電機
- デジタルサイネージ

わたしたちの防災力 発行日：令和4年3月(増刷) 武蔵野の森公園サービスセンター 〒183-0003 東京都府中市朝日町3-5-12 ☎ 042-365-8435
発行：公益財団法人 東京都公園協会 〒160-0021 東京都新宿区歌舞伎町2-44-1 東京都健康プラザハイジア9・10F ☎ 03-3232-3171

あたしたちの防災力

武蔵野の森公園



都立公園の多くは、発災時には避難場所や、救出・救助部
隊のヘリコプターが離発着する広域防災拠点としての役割
を果たします。
その中でも、区部・多摩地域において大きな被害が想定さ
れる地域に近接し、自衛隊をはじめとする救出・救助部隊の
ヘリポートやベースキャンプなどの活動スペースの確保が
可能な都立公園が「大規模救出・救助活動拠点候補地」に
指定されています。
これらの公園は、発災時に自衛隊、消防、警察等の広域支
援・救助部隊が、被災者の救出及び救助活動を行う拠点と
して活用できるよう整備されています。
(公財)東京都公園協会は、東京都や地元区市等と連携し、
これら防災上重要な役割をもつ公園の機能を十分発揮でき
るよう日頃から防災対応力の向上に取り組んでいます。



東京都公園協会ホームページ「防災公園を知ろう」URL：https://www.tokyo-park.or.jp/special/bousai/

武蔵野の森公園の防災上の取り組み

災害時や緊急時に備え、防災対応力の強化と普及啓発に取り組み、安全・安心な公園づくりを進めています。

大規模救出・救助活動拠点の確保

自衛隊などのヘリコプターの離発着場所やベースキャンプとなる大規模救出・救助活動拠点の確保は武蔵野の森公園の大きな役割の1つです。

大規模救出・救助活動拠点には、府中朝日フットボールパークが指定されており、関係機関と連携を進めるとともに訓練を行っています。



ヘリコプター離発着の様子
(水元公園での訓練写真)



ヘリポート確保訓練
(ラインマーカーでヘリポートマーク (H マーク) を描く訓練)

避難場所としての取り組み・地域との連携関係の構築

発災時の延焼火災などから身を守る避難場所としての機能を発揮するため、公園近隣の住民の皆さまや地元消防署等との訓練を実施し地域との連携強化を図っています。



地域住民と連携した防災訓練



地元企業との防災訓練



トピックス

近隣との連携した防災訓練

発災時には公園管理者だけで全ての防災関連施設稼働させることは困難なため、平常時から近隣地域の企業・学校などと連携した防災訓練を実施し、地域住民の共助により施設の稼働に協力を得られるようにしています。



防災意識の普及

イベントや防災訓練において、防災関連プログラムを実施し、来園者の方の防災意識の普及啓発を図っています。楽しみながら、防災を学んでいただけるよう、様々な工夫をしています。



防災フェスタの人気プログラム
「防災ランプ作り講習会」



防災イベント実施
「持ち出し品なあに？」クイズ



防災パネル展示
(飛行場まつり)



震災に備えた職員の対応力向上の取り組み

武蔵野の森公園では、発災に備え、防災無線使用訓練や AED 訓練のほか、様々な時間帯（早朝、日中、夜間）を想定した職員の震災対応訓練を実施しています。



サービスセンター職員間での
AED 使用訓練



発災時に備えた
週1回の防災
無線通信訓練



震災対応訓練



災害対策備品を防災保管庫
にとりまとめ、サービスセ
ンターに備え付けています

防災士などの有資格者の配置

災害時の安全確保に向けて、防災士の計画的な配置をはじめとして、職員の救命救急講習や AED 取扱い講習の推進を図っています。



奥で小学生に教えているのがわたしたち
防災士です
防災士のほか、応急手当普及員、上級救命技能認定者も在籍



防災施設の定期点検

いざという時に、公園にある様々な防災施設（設備）の機能を十分に発揮できるよう、定期的な園内の防災施設（設備）点検を実施しています。

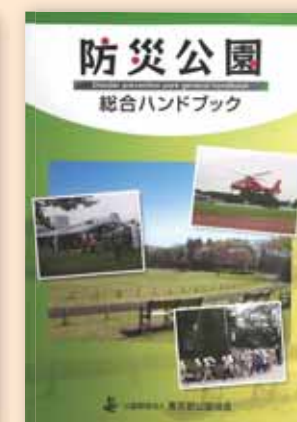


マンホール型トイレの点検



防災関連パンフレットの配布

園内の防災関連施設の紹介や情報発信を目的として、公園ごとの「わたしたちの防災力」を配布しています。また、防災意識啓発の一環として、「防災公園総合ハンドブック」を作成しています。



知っていますか？

「自助」「共助」「公助」

「自助」：災害時、自分自身や家族の身を守ること
「共助」：地域の人々など、人と人々が共に助け合い、救護活動等を行うこと

「公助」：自治体や、警察・消防・自衛隊などの公的機関が災害支援活動を行うこと